

平成30年5月24日
国立大学法人宮崎大学学長選考会議

国立大学法人宮崎大学の次期学長候補者の選考理由と選考経過等について

1 氏名 池ノ上 克 (いけのうえ つよむ)

2 任期 平成30年10月1日から平成33年9月30日

3 選考理由

学長選考会議は、学長選考会議が定める「求めるべき学長像」を踏まえ、学長候補被推薦者推薦届出書、履歴書、業績概要、所信表明書及び個別面接を総合的に勘案し学長候補者の選考を行いました。

その結果、上記の者が、宮崎大学に期待される社会的役割を十分に認識し、宮崎大学が持つ強み、個性、特色を最大限に生かした大学改革を積極的に推進し、かつ、中期目標・計画を達成するためのリーダーシップを発揮し、大学の運営を行っていくことができる人物として、最も適任であると判断し、次期学長候補者に決定しました。

学長選考会議は、池ノ上 克氏の大学運営の下、宮崎大学のさらなる発展に期待します。

4 選考経過

(1) 平成29年12月1日(金)：学長選考会議において、「求めるべき学長像」を策定した。

【参考】「求めるべき学長像」

(ア) 人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有すること。

(イ) 人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展及び豊かな人間性と創造的な課題解決能力を備えた人材の育成、また、学術文化の基軸として地域社会及び国際社会の発展と人類の福祉の向上に資するとした本学の目的・使命を実現するための能力を有する者。

(ウ) 宮崎大学に期待される社会的役割を認識し、宮崎大学が持つ強み、個性、特色を最大限に生かした大学改革を積極的に推進する能力を有すること。

また、中期目標・計画を達成するため、リーダーシップを発揮し、大学を運営する能力を有すること。

(2) 平成30年2月15日(木)：学長候補者選考の公示

次期学長候補者を推薦により募り、学長選考を行うことを公示した。

【参考】

○選考の理由：平成30年9月30日付けで現学長の任期満了のため

○学長の任期：平成30年10月1日から3年間

(3) 平成30年2月16日(金)～平成30年3月30日(金)：推薦期間

池ノ上克氏の推薦届出書の提出があった。

【参考】〈学長選考細則第3条を要約〉

役員及び職員（非常勤職員を除く。）は、本法人の内外から学長候補被推薦者1人を学長選考会議に推薦することができる。この場合、あらかじめ被推薦者に学長就任の同意を得るものとし、かつ役員及び職員10人以上の推薦人を添えるものとする。なお、推薦しようとする者は、①学長候補被推薦者推薦届出書 ②履歴書 ③業績概要 ④所信表明書を作成し、提出する。

(4) 平成30年4月13日(金)：学長候補適任者の公示

学長選考会議は、推薦者から提出された関係書類の審査等を行い、「求めるべき学長像」に該当する者として池ノ上克氏を学長候補適任者として選出し、公示を行った。

(5) 平成30年4月13日(金)：学長候補者意向投票等に関する公示

学長選考会議は、学長候補適任者が現に学長である者であったため、所信表明及び意向投票は実施せず、学長選考会議において面接を実施し決定する旨の公示を行った。

【参 考】〈学長選考規程第4条〉

学長選考会議は、別に定める学長候補被推薦者の推薦、学長候補適任者の選出、所信表明及び意向投票により学長候補者を選考する。ただし、現に学長である者が学長候補適任者となり、他に学長候補適任者がいない場合には、所信表明若しくは意向投票又はその両方を実施しないことができる。

(6) 平成30年5月24日(木)：学長候補者の選考・公示

学長選考会議は、池ノ上克氏を次期学長候補者として選考し、公示を行った。

【参 考】

① 今後は、国立大学法人宮崎大学から池ノ上 克氏を次期学長候補者としたことを文部科学大臣に申し出ることにより、平成30年10月1日付けで学長の任命を受けることとなる。

② 学長選考会議構成員

経営協議会の学外委員：

平野亘也（議長：宮崎銀行代表取締役頭取）、河野雅行（宮崎県医師会会長）、
高野瀬忠明（大塚ホールディングス（株）社外取締役）、
坂 佳代子（前九州保健福祉大学副学長）、町川安久（宮崎日日新聞社代表取締役社長）、
水永正憲（元旭化成（株）取締役兼常務執行役員）、米良充典（宮崎県商工会議所連合会会頭）

教育研究評議会の評議員：

添田佳伸（教育学部長）、丸山眞杉（医学部長）、横田光広（工学部長）、
香川浩彦（農学部長）、吉田雅彦（地域資源創成学部長）、
浅田祐士郎（医学獣医学総合研究科長）、林 則行（農学工学総合研究科長）

理 事：

水光正仁（研究・企画担当）、兒玉 修（教育・学生担当）、鮫島 浩（病院担当）、
迫田浩一郎（総務担当）、伊達 紫（女性活躍・人財育成担当）